【資料６】

令和６年度第１回愛知県義務教育問題研究協議会の協議内容

① 生涯を通じていつでも学び続けることができる人物像について
－社会で活躍する人物像を共有するところから
教育活動の在り方を見つめ直して－

・社会で活躍されている方々は、どのような資質・能力をもっているか。
・自ら計画を立て、自分に合った方法を選択して学習や活動に取り組む力は、社会に出てどのように役立つか。
・学習や活動を振り返ったり、調整したりする力は社会に出てどのように活きるか。

② 「自立した学習者」を育てるための教育活動と教師の支援・指導について
－「Teaching から Coaching へ」－

・子供が自分に合った学び方を身に付ける活動の実現に向けて
・自己調整をしながら学びを深める子供を育てるときの教師の心構え
・学びの主導権を子供たちに委ねる教師のアプローチの仕方
・子供たちが自ら他者と関わりながら積極的に参画、挑戦する場面例